

RootPro Co.,Ltd.

<http://rootpro.jp>

RootPro[®] CAD

〈チュートリアル〉

[STORY～「用紙」で作図編]

「RootPro CAD」をわかりやすく説明します <2012/11/12 発行〉

Copyright(c) 2012 RootPro Co.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

はじめに	2
「RootPro CAD」の特長	2
「用紙」、「部分図」および「部分図レイアウト」について.....	2
準備	3
作図を始める前に準備をします.....	3
「部分図 2」の削除方法	3
「用紙」で作図	4
■「用紙」で作図.....	4
1. 「用紙種類」の確認	4
2. 「部分図レイアウト」のスケールを設定	5
3. スケールを設定した「部分図レイアウト」に作図	6
■作図したファイルを保存.....	9
最後に.....	9

はじめに

このたびは、「RootPro CAD」をお使いいただきまして誠にありがとうございます。

この [STORY～「用紙」で作図編] は、初めてお使いになる方にはわかりやすく、長くお使いいただいている方にも新たな発見ができるようなりファレンスとしました。少しでも図面を扱われる方のお役に立てていただければ幸いです。

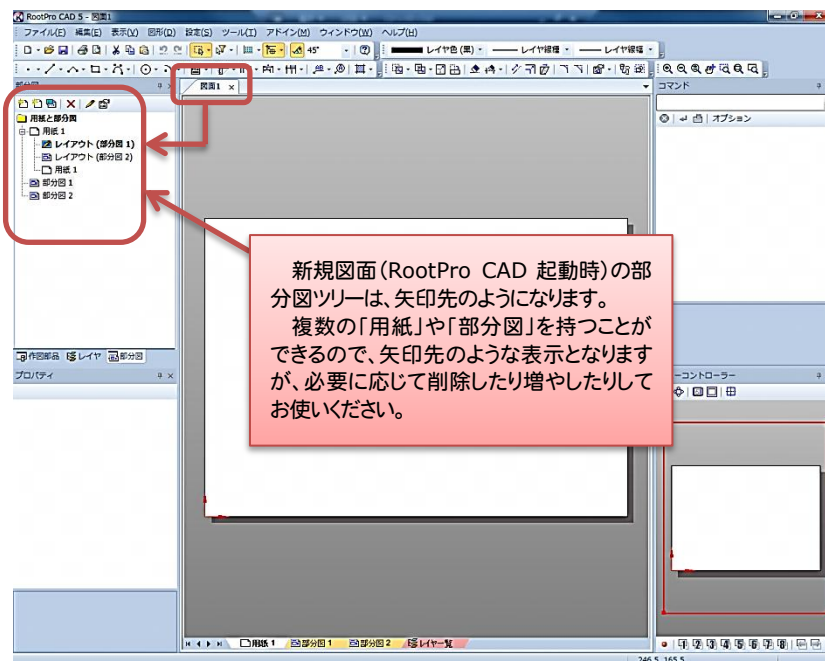
「RootPro CAD」の特長

「用紙」、「部分図」および「部分図レイアウト」について

「RootPro CAD」は、1つの図面に複数の「用紙」と「部分図」をもつことができます。

「部分図」は、実寸 (1/1) の図面で、線や円、文字などの図形を描くことができます。また、スケール (縮尺) や範囲を指定して「用紙」上に配置することができます。「用紙」に配置された「部分図」のことを、「部分図レイアウト」 (新規図面では「レイアウト (部分図 1)」) と表示) と呼びます。

「用紙」は、「部分図レイアウト」を配置したり、「部分図」と同様に線や円、文字を描いたりすることができます。



[RootPro CAD] 起動時画面

Memo 1: RootPro CAD では、「縮尺」のことを「スケール」と表現してあります。

準備

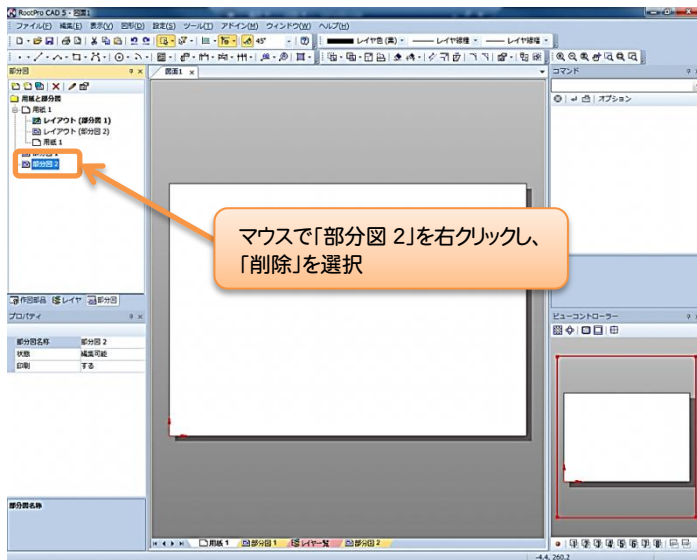
作図を始める前に準備をします

まず、用紙と部分図ツリーをわかりやすく簡略化して説明したいと思いますので、必要のないツリーを削除します。

部分図ツリーウィンドウの「部分図 2」を削除して「用紙」と「レイアウト（部分図 1）」と「部分図 1」だけにします。

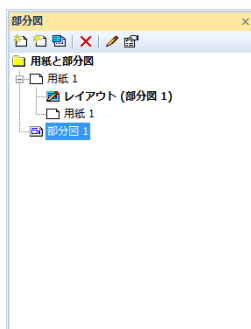
「部分図 2」の削除方法（[図:1] 参照）

部分図ツリーの「部分図 2」でマウスの右ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「削除」を選択して実行してください。（「レイアウト（部分図 2）」も一緒に削除されます。）



[図:1]

「部分図 2」を削除すると、「用紙」と「レイアウト（部分図 1）」と「部分図 1」のみのツリーになります。（[図:2] 参照）



[図:2]

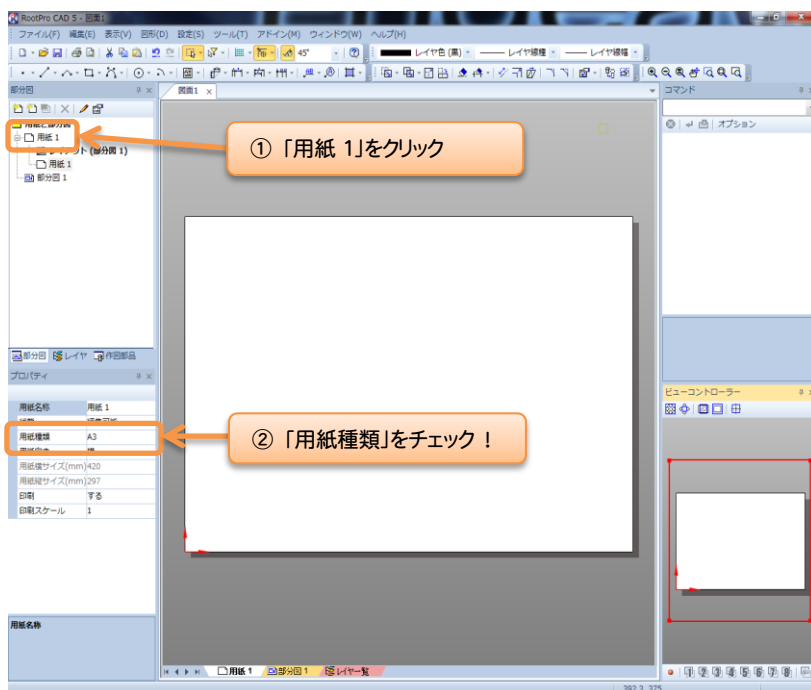
これから一緒に作図する [STORY～「用紙」で作図編] では、RootPro CAD 上の「用紙」を表示させた状態で図形を描きます。

「用紙」で作図

今回は、「用紙」を表示させた状態で図形を描きます。「用紙」サイズは A3 を用います。描く四角形を「横 600mm ,縦 400mm」とします。

■ 「用紙」の設定を確認

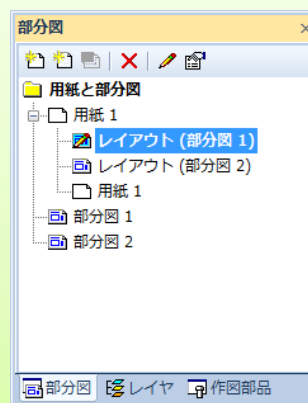
1. 部分図ツリーの「用紙 1」をクリックし、プロパティウィンドウで「用紙種類」が「A3」になっているか確認してください。([図:3] 参照)



[図:3]

Memo 2: RootPro CAD の部分図ツリーのデフォルトは、「部分図」を「用紙」に配置している(部分図レイアウトがある)状態となっています。(右図参照)

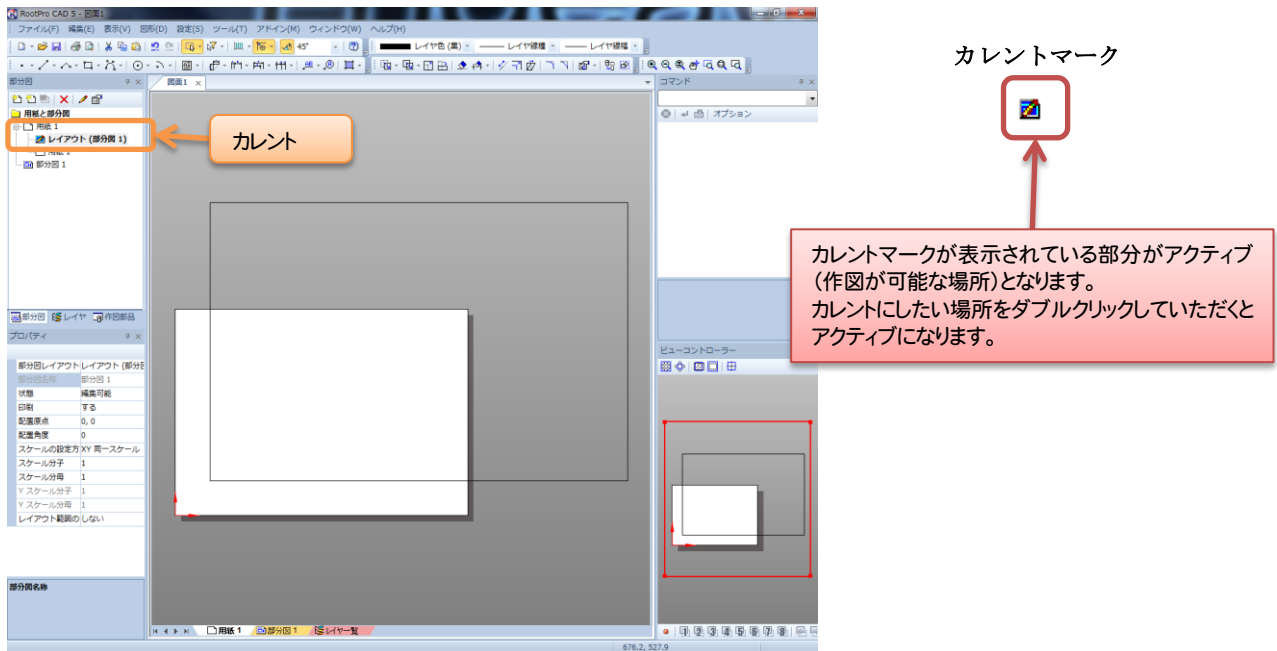
「用紙」に図形を描く場合は、「スケール」の設定が可能な「部分図レイアウト(レイアウト部分図)」をカレントに設定することをおすすめします。



2. 「部分図レイアウト」のスケールを設定します。

まず、「レイアウト（部分図 1）」にカレントマークがある事を確認します。次にスケール値を設定します。A3の「用紙」サイズは、「横 420mm,縦 297mm」です。そのため、今回描きたい四角形（「横 600mm,縦 400mm」）をスケール 1/1 とした場合、A3の「用紙」からはみ出してしまいます。

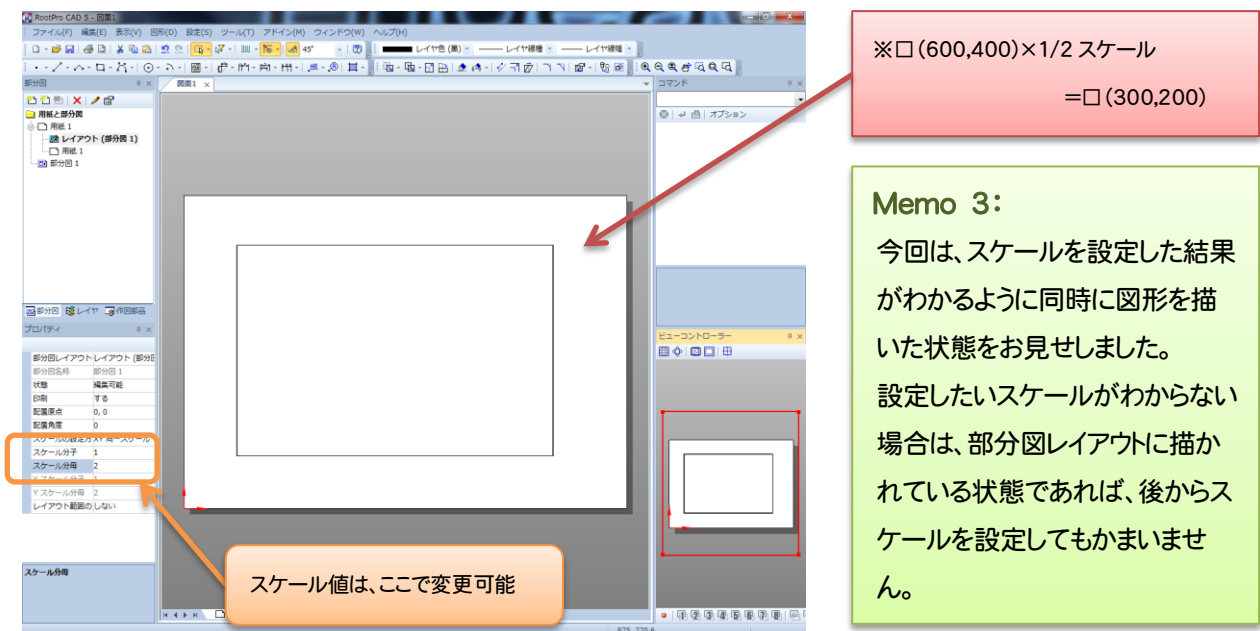
（[図:4] 参照）



[図:4]

そこで、四角形が「用紙」に収まるように、図形を描く前にスケール値を設定します。プロパティウィンドウをご確認ください。

プロパティウィンドウのスケール分母に「2」と入力すると「1/2」のスケールが「部分図レイアウト」に設定されます。そこに 1/2 スケールの四角形を想像すると A3 の「用紙」に程よい大きさに収まります。（[図:5] 参照）



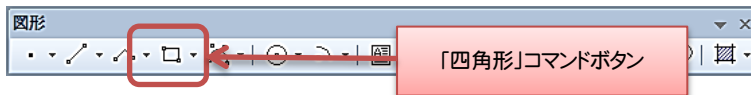
[図:5]

3. スケールを設定した「部分図レイアウト」に作図をします。

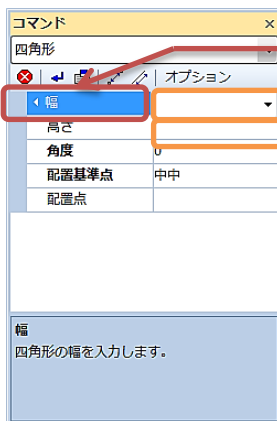
スケールを設定した「部分図レイアウト」に作図をする場合は、まずその「部分図レイアウト」にカレントマークがあるか確認をしてから作図をしてください。

次に、四角形コマンドを使用して、「幅 600、高さ 400」となる四角形を描きます。

四角形コマンドは、「図形」メニューの「多角形」—「四角形」を選択。または、「図形」ツールバーの「四角形」コマンドボタンをクリックしてください。



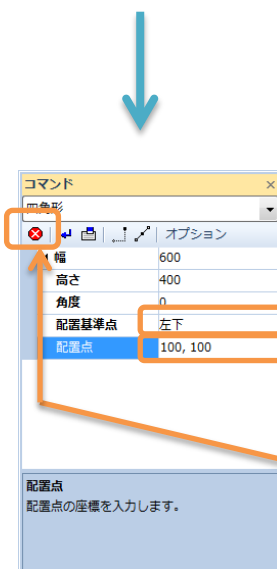
コマンドウィンドウのコマンドボックスに「四角形」と表示されます。各パラメーター値に下記のように数値を入力してください。



この部分のパラメーター名称が「幅」になっていない場合は、名称の隣にある三角マークをクリックして「幅」に変更してください。

① 「600」と入力して「Enter」

② 「400」と入力して「Enter」



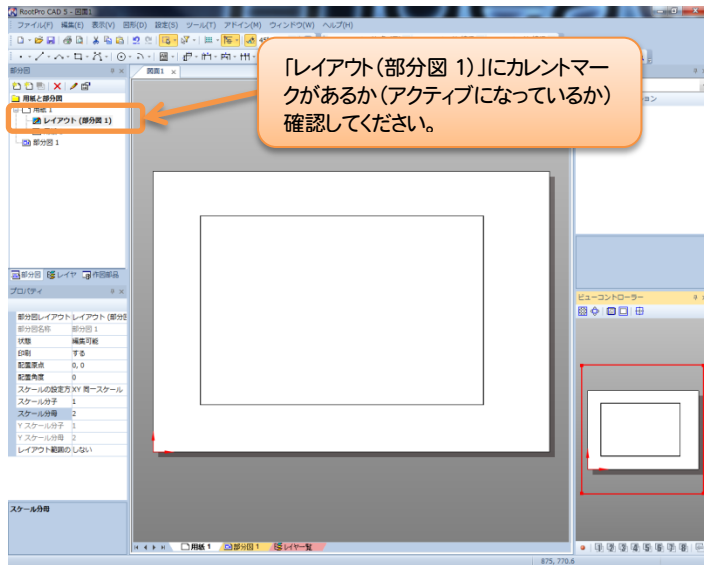
① 配置基準点を「左下」に変えてください。配置基準点のパラメーター値をクリックすると「左下」に変更できます。

② 配置点のパラメーター名称が青色になりましたら、「100, 100」と入力してください。
今回は、用紙の程よい位置に図形が配置されるような配置点としました。

③ 配置後は、コマンド終了ボタンを押して終了させてください。
Esc キー、右クリックメニューの「コマンドの終了」でも可能です。

[図:6] は、「部分図レイアウト」に四角形を描いた状態です。

「部分図レイアウト」をアクティブにして「部分図レイアウト」に描いた図形は、「部分図」のデータとなります。([図:6], [図:7] 参照)



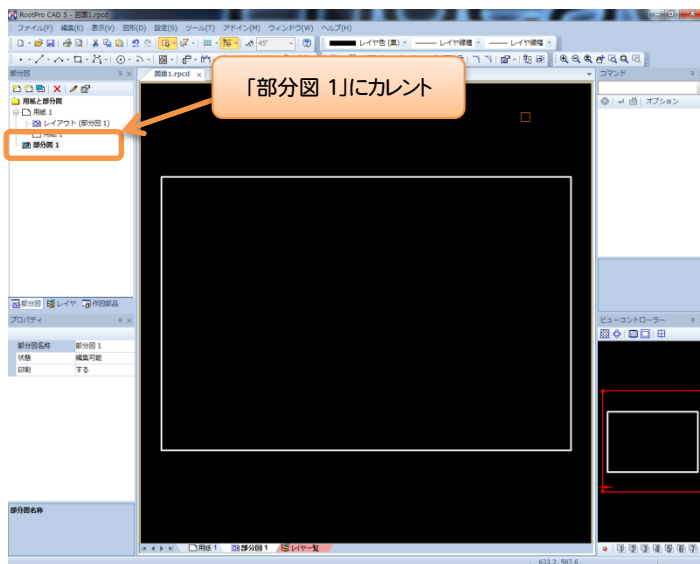
[図:6] 「用紙 1」の「レイアウト(部分図 1)」の表示状態

「用紙 1」の「レイアウト(部分図 1)」と「部分図 1」を切り換えた時の比較



Memo 4:

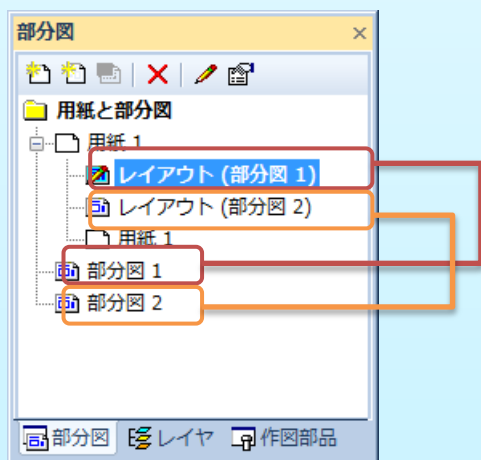
「用紙 1」の「レイアウト(部分図 1)」に描かれた図形は、「部分図 1」(1/1)のデータになります。また、「部分図 1」に描いた図形は、「用紙 1」の「レイアウト(部分図 1)」で表示されます。



[図:7] 「部分図 1」の表示状態

補足 1 :

RootPro CAD は、「用紙」にある「部分図レイアウト」で「部分図」の図形を表示しています。「部分図レイアウト」毎のスケール設定が可能ですので、1つの「用紙」に複数の異なるスケールの「部分図レイアウト」をもつことができます。

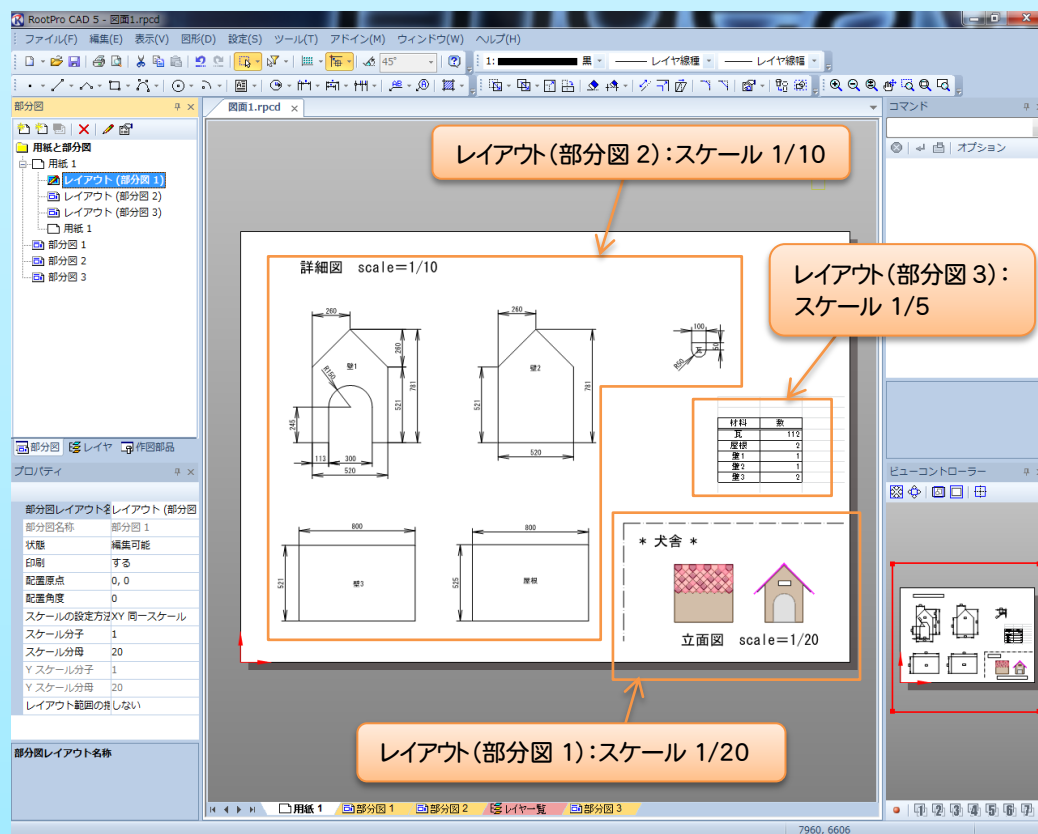


例:[図:8] 参照

レイアウト(部分図 1)=1/20 スケール

レイアウト(部分図 2)=1/10 スケール

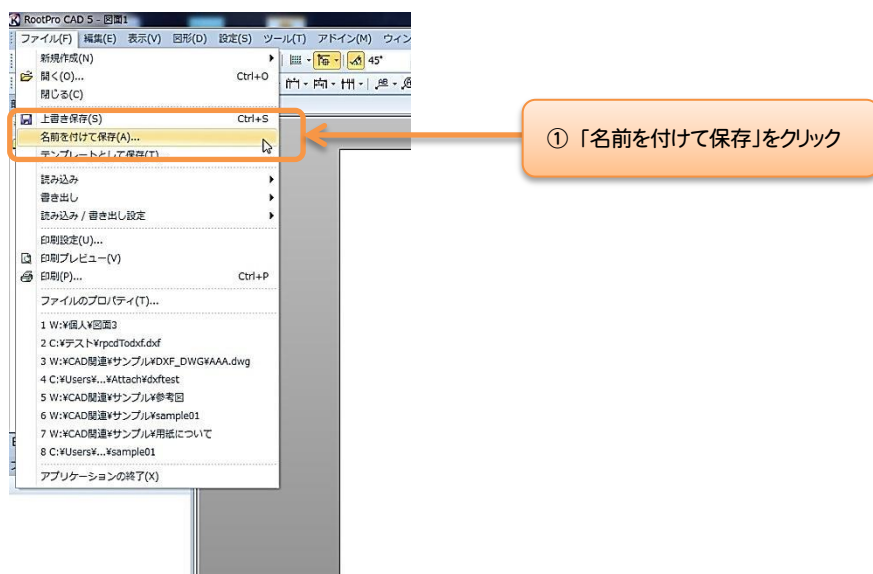
レイアウト(部分図 3)=1/5 スケール に設定



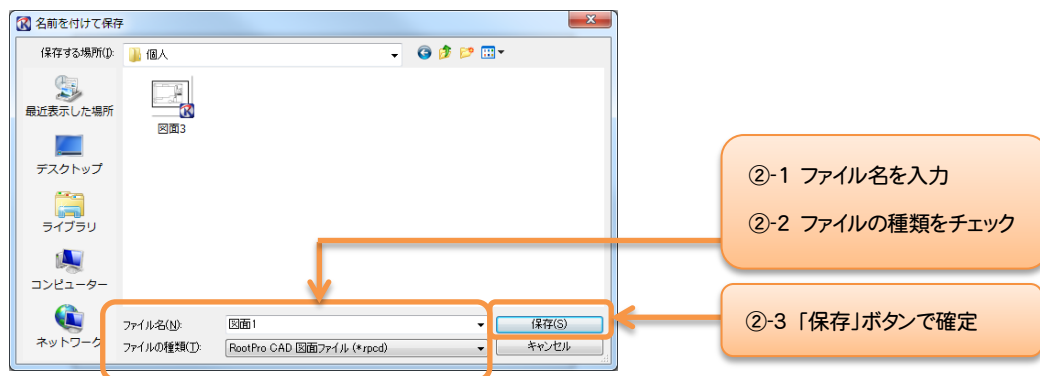
[図:8]

■作図したファイルを保存します

- ① 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選んでください。



- ② 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。
保存先を選択し、「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。「ファイルの種類」が「RootPro CAD 図面ファイル (*.rpcd)」になっていることを確認し、「保存」ボタンをクリックするとファイルの保存が完了します。



最後に

この[STORY～「用紙」で作図編]は、以上です。

今後も皆様からのご意見・ご要望をいただきながら、さらなる改善と充実をさせた[STORY～編]を作成していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。